

<運営推進会議における評価__様式例> ※公表用

【事業所概要】

法人名	医療法人愛広会	事業所名	ナーシングケアとよさか
所在地	(〒 950 - 3325) 新潟市北区白新町2丁目13番10号		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

2023年12月1日より、小規模多機能型居宅介護事業所から看護小規模多機能型居宅介護事業所に移行いたしました。
看護師が日中常時2名配置されています。ご自宅に訪問しての健康観察や医師の指示書に基づく医療処置ができるようになり、利用者様や家族様にもより安心してご利用頂けるようになりました。併設施設にはサービス付き高齢者向け住宅の愛広苑弐番館があり、愛広苑弐番館に住みながらナーシングケアとよさかをご利用いただく事も出来ます。介護士には、明るい職員やベテラン職員も配置されており、利用者様の笑顔も多い事業所となっています。将来的に在宅での生活が難しくなった場合には同グループの各種施設等をご紹介します事もできます。
可能な限りご自宅での生活が続けられる様、看護、介護でご支援させていただきます。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦__2025年__2月__27日	従業者等自己評価 実施人数	(__16__)人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	-----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦__2025年__3月__26日	出席人数(合計)	(__5__)人	※自事業所職員を含む
出席者(内訳)	☒ 自事業所職員(__2__人) ☐ 市町村職員(__ __人) ☒ 地域包括支援センター職員(__1__人) ☒ 地域住民の代表者(__1__人) ☐ 利用者(__ __人) ☐ 利用者の家族(__ __人) ☒ 知見を有する者(__1__人) ☐ その他(__ __人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目		前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
Ⅰ．事業運営の評価 (評価項目 1～10)		初回の為なし	・情報の共有を日々のミーティングや申し送りノート等を活用し、周知するようにした。	・実践でいている為、今後も継続して行っていく。
Ⅱ．サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	初回の為なし	・利用者、家族の希望や思いを踏まえ、泊まり、通い、訪問介護、訪問看護の調整をさせていただいた。	・柔軟に対応させて頂いている。今後も継続して行っていく。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	初回の為なし	・看護を中心として医療機関との関係作りを行った。	・関係性が築けてきているが、更に急変時や看取り対応等についても連携が取れるようにしていきたい。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	初回の為なし	・コロナ禍の為、厳しい状況ではあったが地域行事への参加をさせていただいた。	・運営推進会議等で地域行事の情報を頂き、参加できるように勤務の調整等も行っていく。
Ⅲ．結果評価 (評価項目 42～44)		初回の為なし	・看取り対応について職員の不安が軽減されるよう研修等に参加し知識を深めている。	・法人内外の看取り研修に参加した職員より、他職員へ内部研修を行っている。今後も継続して行く。

※ 「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します。

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目		評価結果	改善計画
Ⅰ. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		・理念があると皆が同じ方向を向いて職務に当たれると思うので、現状に合わせた作成をお願いします。 ・全職員の方達が一丸となって事業計画に添った取り組みに努力されている状況を把握させて頂きました。	・新しい理念は作成中であり、4月1日の新年度より新たな理念でスタートいたします。 ・ターミナル研修等に参加していますが全員ではなく、内部研修にて対応しています。看護協会の研修にも積極的に参加させていただきます。
Ⅱ. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	・アセスメントは重要だと思うので、更新が全員分しっかりと取れると良いと思います。	・送迎時や電話等で確認はしていたが、状態や状況に変化がない方はアセスメントの更新が後回しになってしまっていた。その都度しっかりとアセスメントを取り、本人、家族の思い等を確認して共有できるようにします。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	・病院・施設との連携、情報共有の面では複数職員で行っていると実感に繋がるのではないのでしょうか。	・実際に退院前カンファレンスや利用者宅への訪問、CMや病院との情報交換、共有は行っているが、事業所内への周知が不足していたと感じる。記録だけではなく、日々のミーティング時等でも周知して行く事とする。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	・医療ニーズの高い要介護者を受け入れる体制作りをお願いします。 ・健康管理、機能訓練、医療ケア等、入浴、排泄、食事等の日常生活での介護で、家族が気付かない事等、きめ細かい丁寧なサービスの徹底に心がけて下さる事に感謝しております。	・積極的な受け入れができるよう、看護を中心とした研修会の参加を行います。 ・共有を念頭に置いた支援を行い、皆様が安心して利用できる環境作りを行って行きます。
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)		・看取りの実績ができると良いと思います。看多機の強みだとも思います。	・癌末期の方を受け入れたり、終末期とも受け取れる方の支援も行っている。今後も医療との連携を強化し、対応していきます。

※ 自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よくでき ている	おおよそ できている	あまりで きていな い	全くでき ていない		
I 事業運営の評価【適切な事業運営】							
(1)理念等の明確化							
①看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている		6	6	4	・施設の方針や体制によってすべての項目を取り上げる事が難しい面もあると思いますが、現状に合わせた作成をお願いします。 ・理念があると皆が同じ方向を向いて職務に当たれると思います。 ・おおよそ出来ていると思う。 利用者の受け取り方にもよるので難しいとも思う。	◆ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ◆ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ◆ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u>					
		小多機から看多機へ移行して1年が経過した。現状と今後を踏まえた新しい理念を皆で考え作成する予定である。					
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している		7	7	2	・5項目が連動している事で周知しやすくケアの質向上に繋がるといいます。 ・看多機へ移行となり、医療ニーズの高い利用者の在宅生活を支える拠点としての考え方等を2年目に入るちょうど良いタイミングで作成すると良いと思います。	◆ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ◆ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u>					
		上記③④⑤は盛り込まれ実践している。 ①②についてを取り入れ、早急に新理念を作成する。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よくでき ている	おおよそ できている	あまりで きていない	全くでき ていない		
(2)人材の育成							
①専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	1	6	7	2	・評価表と育成計画が同様であれば内容によって充足度が高いのではないのでしょうか。	◆ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ◆ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ◆ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容]					
		新職員の育成について、評価表を基に段階を追って確認し指導等も行っている。					
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	1	12	3		・研修は実施、参加出来ている状況がわかりました。個別性、専門性は状況に合わせての検討の持続をお願いします。 ・医療依存度の高い方を受け入れる為の育成、喀痰吸引等は早急に行う事をお勧めします。	◆ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容]					
		個人個人の研修計画を作成し、皆に研修の機会が与えられるようにしている。					
②介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	1	9	5	1	・複数の方法で情報共有が出来ている事は良い事と考えられます。 ・継続して頑張ってください。	◆ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ◆ 例えば、「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容]					
		日々のミーティングや申し送りノートを活用し情報共有されている。疑問点は口頭での確認もされている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よくでき ている	おおよそ できている	あまりで きていない	全くでき ていない		
(3)組織体制の構築							
①運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	2	8	5	1	・議事録の内容だけでなく、積極的な情報共有が来ている。	◆「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
[具体的な状況・取組内容]							
会議にて報告した事に対して意見や助言を頂き、議事録として記載し周知している。 改善を図りながら、良い意見は口頭で共有し、更に良い支援ができるようにしている。							
②職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	1	10	4	1	・休める事、連携して業務を行えている事を示す数値になっていると感じた。 ・業務改善等難しい課題にも取り組んで、スタッフの大半はおおよそ出来ていると評価している事が良いと思います。 ・よく出来ていると思う。 働き方が問題になっているので難しい所もあると思う。	◆「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ◆例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
[具体的な状況・取組内容]							
残業なく業務が終えられるよう業務改善を行っている。急用等で休みや時間給等取得の場合も出勤職員でフォローし合っている。							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よくでき ている	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全くでき ていない		
(4)情報提供・共有のための基盤整備							
①利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	1	11	3	1	・スタッフ間で共有出来ているツールが機能的に使用されている事がわかる。	◆ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容]					
		各利用者のADL表があり変化があった場合には更新されている。又、申し送りノートを活用し共有がされている。					
(5)安全管理の徹底							
①各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている		10	6		・発生時に検討する対策を継続していく事で安全安心の向上に繋がって行くと良いと思います。 ・今後も継続して安全に努めて頂きたい。	◆ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します ◆ 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容]					
		公用車には事故時の対応マニュアルが入れてある。ヒヤリハット等はすみやかに共有され原因の分析や対策の検討を行い、利用者、職員の安全に努めている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よくでき ている	おおよそ できている	あまりで きていない	全くでき ていない		
②災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	2	6	8		・BCP作成の必須は比較的に新しい事なので内容の周知に注力する事で、評価も変わってくるのではないのでしょうか。 ・継続して頑張ってください。	◆ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ◆ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u>					
		マニュアルがあり、随時更新もされている。 BCPを作成しており研修も行われている。 誰もが対応できるよう再周知も行っていく。					
Ⅱ サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1)利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
①利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている		6	7	3	・利用者を取り巻く環境は、身体・精神・社会的等多くの側面があり把握するだけでも大変ですが、ケアの質の向上に繋げる為にもアセスメントを続けて下さい。 ・アセスメントは重要だと思いますので全員のアセスメントが取れると良いと思います。 ・全員のアセスメントを取る事は大変だと思いますがケアについて大切になってくると思うので全員できるようにしていく事は良い事だと思います。	◆ 「家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ◆ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u>					
		サービス利用時以外の過ごし方に配慮し、家族と連携しながら要望に沿って取り組んでいるがアセスメントができていない利用者もいる。全員のアセスメントができるようにしていく。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よくでき ている	おおよそ できている	あまりで きていない	全くでき ていない		
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている		9	7		・専門性の違いを尊重し合って考えを共有していく為の学びの機会も重要になって来ると思います。 ・看多機は看護と介護の連携が大切だと思いますので、今後も頑張って頂きたい。	◆ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ◆ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
②利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	1	12	2	1	・意識的に家族と関わる事が出来ている結果と感じました。 ・本人、家族がどのような生活を継続したいのか、定期的に確認できると良いと思う。	◆ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し、利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
		[具体的な状況・取組内容]					
		看護、介護の視点からお互いに意見しあい情報共有がされている。申し送りノートでも共有がされている。					
		日々のコミュニケーションからも家族の意向をお聞きしている。家族の意向がわかるケアプランになっていると思う。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よくでき ている	おおよそ できている	あまりで きていない	全くでき ていない		
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている		11	4	1	・アセスメント出来ているからの計画ができている事がわかった。状態に合わせてアセスメントを継続的に行って、計画への反映も大切になると思います。 ・看護が主導となって機能向上が図れるのは看多機の良い所だと思います。	◆ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ◆ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
③利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている		8	7	1	・リスクに関連した予測を他職種間でも同程度に理解できるような形で計画していく事で、統一した対応に繋げて行けると考えられます。 ・多職種が連携するのが大切ですので今後も頑張ってください。	◆ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ◆ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よくでき ている	おおよそ できている	あまりで きていない	全くでき ていない		
(2)利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
①継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている		12	4		・継続して頑張ってもらいたい。	◆ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u>					
		職員間で利用者のADLや変化等を共有しケアマネに情報提供を行っている。適宜反映に繋がっていると思う。					
②居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している		8	8		・優先度や必要度に合わせて範囲を広げていけると良いと思います。	◆ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ◆ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u>					
		利用者全員ではないが、訪問時に同居家族を含めた生活状況の把握をしている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よくでき ている	おおよそ できている	あまりで きていない	全くでき ていない		
③利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている		12	4		・特定のシートの活用は情報共有において効率的なものになっていて、続けて行ければ良いと思います。電話等の柔軟な対応と合わせる事で効果も高まると感じました。 ・継続して頑張ってください。	◆「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 受診時には利用時の様子や特変等を記載した医療連携シートを活用して、主治医との情報共有ができています。必要時は直接電話で確認も行っている。							
③介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
①介護職と看護職の相互の専門性を活かした柔軟なサービスの提供							
19	○介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	1	8	7		・専門性、共通性を生かした業務調整からのサービス提供がケアの個性にも繋がると思います。	◆「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ◆介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 看護職、介護職の視点で関わり、生活面や身体面で情報共有しサービス提供に繋げている。							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よくでき ている	おおよそ できている	あまりで きていない	全くでき ていない		
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	1	10	5		・気付く事ができるからの記録やミーティングであると考えられるので、続けて行くことが大切と感じました。	◆ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
②看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている		7	9		・複数の研修が実施されているとわかりました。施設内の状況や課題に合わせたテーマでも行っていく事で充足度に繋がって行くのでないでしょうか。	◆ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ◆ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
①利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		10	6		・相手の理解力や感覚によって受け取り方の違いも大きいと思いますが、反応を確認しながらの対応に繋がっていると感じました。 ・看多機は2012年に新設されたサービスなので、まだ少し馴染みが少ないサービスかもしれません。その為他のサービス以上に丁寧に説明する必要があるかもしれませんね。	◆ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よくでき ている	おおよそ できている	あまりで きていない	全くでき ていない		
②利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		10	4	2	・必要と考えられるタイミングでのかわりをもつ事ができる体制があるとわかりました。	◆「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容]					
		その都度説明を行い、理解を得ていると思う。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		5	4	7	・特定の場面だけではなく、日常的なケアでも情報提供や説明している事があると思うので、評価はもっと良くてと感じました。	◆「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容]					
		家族から、内服薬がなかなか飲めないとの相談があった時に服用する方法や提案を行った。					
③重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人(意思の決定・表示ができない場合は家族等)の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	1	7	7	1	・理解や共有という面に目を向けると評価が難しかったのではないかと思います。	◆「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容]					
		利用者が終末期との理解が難しい場合が多いがどのように過ごしたいかの確認をしている。家族の希望も随時確認を行っている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よくでき ている	おおよそ できている	あまりで きていない	全くでき ていない		
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている		7	5	4	・リスクは幅広いのでアセスメントの質が評価に結び付くものと思いました。 ・継続して頑張ってください。	◆ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容]					
		理解が難しい利用者には分かりやすい言葉で、家族にも随時確認を行い共有している。					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している		3	6	7	・説明の対象内容として本人が入らないケースの充足度は判断が難しいのかと感じました。 ・ACPの記録があると良いと思います。 ・難しい事だと思います。	◆ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ◆ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
		[具体的な状況・取組内容]					
		本人に死までの経過を説明した事はないが、家族とは密に連絡を取り合い確認を行っている。その際の記録は残している。					
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している		1	13	2	・難しいと思うが複数職種で行えていると実感に繋がるのではないのでしょうか。 ・あまり出来ていないようなので頑張ってください。	◆ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ◆ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
		[具体的な状況・取組内容]					
		退院前、利用前より病院や施設等との情報交換や本人との面談や自宅訪問等を行い共有している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よくでき ている	おおよそ できている	あまりで きていない	全くでき ていない		
②入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができる		5	9	2	・事前準備からの共有の徹底も評価に繋がると感じました。	◆ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ◆ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
		[具体的な状況・取組内容]					
		医療連携シートや直接等で情報提供を行い、都度必要な支持を仰いでいる。					
③地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	1	6	7	2	・緊急時に実際に対応できるかの要素が体制構築となっていないとの思いに繋がる可能性があるのではないのでしょうか。	◆ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容]					
		緊急対応ファイルに全員分の情報があり、協力病院等の連絡マニュアルも作成されている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よくでき ている	おおよそ できている	あまりで きていな い	全くでき ていない		
(2)多職種との連携体制の構築							
①運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	2	10	3	1	・地域の社会資源の活用や紹介は実例からよくわかりました。	◆ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ◆ そのような取組をしたことがない場合は「全くできていない」 ◆ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
		[具体的な状況・取組内容]					
		利用者の活気に繋がるようボランティアを募るチラシを自治会長に依頼し回覧板に入れていただいた。利用者宅の近隣で困っていると相談があり包括支援センターを紹介させていただいた。					
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1)地域への積極的な情報発信及び提案							
①サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	5	7	3	1	・適切に発信出来ていると考えられます。	◆ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容]					
		会議後の議事録を申し送りノートに挟み周知している。その後は全体に向け玄関前にファイリングされている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よくでき ている	おおよそ できている	あまりで きていない	全くでき ていない		
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている		9	6	1	・感染症の影響により、制限はあった中で工夫し実施されていると感じた。	◆ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ◆ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます ◆ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
<u>【具体的な状況・取組内容】</u>							
事業所の様子がわかる広報を回覧板に入れていただいた。コロナ渦で参加が困難な時もあったが駅前植栽等にも参加させて頂いている。							
(2)医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
①看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している						◆ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ◆ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ◆ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
<u>【具体的な状況・取組内容】</u>							
指定なし							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よくでき ている	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全くでき ていない		
②医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている			8	8	・積極的な体制作りを頑張ってください。	◆「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ◆「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ◆「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
<u>【具体的な状況・取組内容】</u>							
日中の痰吸引体制は整っているが、夜間の体制は整っていない。							
36	○「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている				16	・積極的な体制作りを頑張ってください。	◆「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ◆「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ◆「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
<u>【具体的な状況・取組内容】</u>							
体制が出来ていない。							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よくでき ている	おおよそ できている	あまりで きていない	全くでき ていない		
37	○「看取り支援」を必要とする要 介護者を受け入れることができ る体制が整っており、積極 的に受け入れている		1	6	9	・今後は積極的に受け入れできると 良いと思います。	◆「積極的な受け入れ」について、充 足度を評価してください ◆「受け入れることができる体制」が 整っていない場合は、「全くできてい ない」 ◆「あまりできていない」～「よくでき ている」は、その「積極性」の視点か ら、充足度を評価します
(3)地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
①行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が 介護保険事業計画等で掲げ ている、地域包括ケアシス テムの構築方針や計画の 内容等について理解している	1		8	7	・理解が少ない状況がわかったとの 事なので、状況に合わせた準備、 説明等の対応をお願いします。 ・難しいと思いますが必要だと思 いますので頑張ってください。 ・一般職の方が行政の事について 理解を深める事は難しいと思いま す。その為都度研修等を実施する 必要もあると思います。	◆「内容等の理解」について、その充 足度を評価します ◆ 地域包括ケアシステムの構築にあ たっては、その中で各々が果たす べき役割を、明確に理解することが 必要であるといえます ◆ 地域包括ケアシステムの構築方針 や計画などがない場合は、「全くで きていない」
【具体的な状況・取組内容】							
理解出来ていない職員が多くいた為、連 携、共有を念頭に置いた説明を行って いく。							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よくでき ている	おおよそ できている	あまりで きていない	全くでき ていない		
②サービス提供における、(特定の建物等に限定しない)地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	4	5	1	6	・地域に看多機の良さがアピールできると更に良いと思います。	◆ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ◆ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ◆ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容]					
		併設住宅の方は少数であり、地域の方を積極的に受け入れ、サービスを提供している。					
③安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	1	2	4	9	・継続して頑張ってください。	◆ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ◆ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ◆ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容]					
		訪問時のゴミ捨て支援に於いて、時間帯のご相談をさせていただいた。認知症の方をサポートする会議等にも参加している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よくでき ている	おおよそ できている	あまりで きていない	全くでき ていない		
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている		4	9	3	・継続して頑張ってください。	◆ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します ◆ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます ◆ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
[具体的な状況・取組内容]							
地域からボランティアを募ったり、防災訓練参加の案内を配布している。家族からの相談にはお答えしているが地域への貢献は不足している為、積極的な発信や参加をしていきたい。							

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
①計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ② 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> 定期的に評価を行っており、維持、達成されている。	・継続して頑張ってください。	◆ 「計画目標の達成」について、評価します
②在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ② 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> 独居の方に訪問看護、介護が連日伺い生活援助や健康面を観察させて頂いている。家族との連携、情報共有を密に行っている事により感謝の言葉を頂いている。	・継続して頑張ってください。	◆ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている ④ 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> 家族との連絡を密に取り、安心して頂けるように対応している。	・看取りの実績ができると良いと思います。看多機の強みだとも思います。	◆ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ◆ 在宅での看取りは、事業所内(通い・泊まり)での看取りを含みます ◆ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」